

---

# オルクス～守護星座物語～

紫愚真

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オルクス〜守護星座物語〜

### 【Nコード】

N9413Z

### 【作者名】

紫愚真

### 【あらすじ】

オルクス。

その星に住む人々には、1人1つ、生まれながらにして特別な能力が備わっていた。それは、彼らに1つずつ“守護星座”があるからだった。星座による彼らの力により、平和で快適な生活が送られていた。しかし、能力の違いにより“第一次星座大戦”が始まってしまふ。そのとき、12人の勇者が力を合わせ、戦争を終わらせた。人々は彼らを讃え、国王にした。時は流れ、勇者たちは死に、代わりにその子たちが世界を統治していた。その子にも能力が受け継が

れるが、彼らは争いを始めてしまう。能力の奪い合い。第二次星座大戦の始まりだった。生き残るのは誰なのか？ 主人公はどうなるのか？ 世界の運命は？ それは星座たちにさえ、まだ分からない。

能力を巡る、“神羅”たちによる、新たな戦いが始まった。

## プロローグ はじまり

### 星座。

それは遙か昔、人々が夜空を見ていたときに、偶然星の集まり方がいろいろな物に見えたことから、名前をつけ、親しまれていった。航海の道標になったとも言われている。

そんな星座たちに、守られている者がいた。彼らの住んでいる場所は地球ではない。

その星は、地球から遠く離れた惑星‘オルクス’だった。

‘オルクス’の人々は、生まれながらにして、一人ひとつずつ“守護星座”というものを持つ。

“守護星座”は、人々にさまざまな力を与える。

火を纏う力、水の中でも永遠に息をすることができる力、超絶的な学力、空を飛べる力、未来を見ることが出来る力……。

守護星座により与えられる力は異なる。また、1つの守護星座は、1人にしか力を与えない。

人々はそれぞれの持っている能力を生かし、平和で、快適な生活を送っていた。

しかし、その平和を乱そうとするものがいた。

能力は1人1つ。能力を持たないで生まれてくるものや、逆に能力を2つ以上もって生まれてきたものなどいない。例外なく1人1つの能力だった。

しかし、それが平等かと言われれば、そうでは無かった。

能力1つ1つが違うため、当然異常に役に立つ能力や、ほとんど役に立たない能力があった。

人々を守護する星座の力が、それぞれ違うからである。

能力の差が生まれれば、当然争いが起こった。‘第一次星座大戦’

である。

便利な能力を持つものは襲われ、次々と死んでいった。すると、便利な能力を持った人を殺した者に、ある変化が起きた。

‘第2の能力’を使えるようになったのだ。しかもそれは、殺された、便利な能力を持つ人の能力と全く同じだった。

そう、人を殺せば、殺したものは、殺されたものの能力を手に入れることができる。

人は、一人で、複数の能力を持つことができるようになった。

これにより、争いは一気に激化した。

人々は国ごとに分かれ、大規模な戦争を繰り広げた。

各地で、無関係な民が次々と死んでいった。

殺せば殺すほど、強くなる。強くなれば、世界を支配できる。だがしかし、強くなったものはその能力を狙われ、殺されやすくなる。

各国のエース級の戦士たちは、日々辛い戦いをしていた・・・。

バラバラの12国から現れた12人の勇者は、力を合わせ、各地に赴き、戦争を止めることに尽力した。

圧倒的な彼らの能力と、平和を望むその心に、人々は感動した。

彼らにより、大戦は幕を閉じ、人々にはまた幸せな生活が訪れた。

人々は彼らを讃え“神羅”と呼び、彼らの守護星座を“神羅守護星座”と呼んだ。

中には“神羅守護星座”の力を求めて、それぞれが国々の王となった“神羅”たちに立ち向かうものもいたが、その強大な力に完敗し、次第に反抗するものは少なくなっていた。

時は流れた。

世界を救った12人の“神羅”は老い、死んだが、その能力は引き継がれていた。

普通、能力は子には受け継がれないが、“神羅守護星座”の能力だ

けは子に受け継がれていった。

“神羅”の子も、“神羅”と呼ばれていた。

やがて“神羅”のなかにも、他の能力を求めるものが現れた。

彼らが狙うのは、自分に匹敵するほどの能力。そこらにいる人間の能力など、彼らの力を持ってすれば欲しいものではない。

“神羅”は、別の“神羅”の能力を欲した。

平和な世界の中で、“神羅”同士の争いが始まった。

それは、“神羅”による、“神羅”だけの戦い。一般人には関係のないことだった。

戦うのは“神羅”のみ。

より高みを目指すために。すべてを手に入れるために。最強になるために。

新たな戦いが始まった。

第二次星座大戦である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9413z/>

---

オルクス～守護星座物語～

2011年12月29日14時51分発行